

国内外の拠点ネットワークを駆使して多品種展開を実現 (弘進ゴム 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:宮城県仙台市若林区河原町2丁目1-11
- 代表者:取締役社長 西井英正
- 資本金:1億円
- 売上高:123億円(H24.5月期)
- 従業員数:320名
- URL: <http://www.kohshin-grp.co.jp/>

①事業概要

<ゴム・ビニル製品製造・販売>

弘進ゴムは70年超の歴史を持つゴム・ビニル製品製造の大手。通勤、通学用やレジャー用といった一般向けブーツから、水産、農業、食品、土木建設業向け等といった業務用まで、多種の長靴を製造。

すべての製造工程に品質管理システムを導入しハイパフォーマンスを実現しており、また創業以来の「より良い製品づくり」のモットー通り、高品質の製品は消費者の根強い支持を得て、専門業種向け作業用長靴では国内25%のトップシェアを確保している。

長靴をはじめとしたフットウェアの他にも、レインウェアやゴムホース、ビニルシートや介護用品などを取扱い、今ではフットウェアと並ぶヒット商品に成長しているが、いずれもゴム・合成樹脂を原料としているもので、同社が長年培った配合、縫製・溶着加工、防水技術などが生かされている。

②海外展開概要

<中国への工場設置>

弘進ゴムでは国内工場の他に中国・大連にも生産拠点を置き、主に長靴を生産している。中国では長靴を履く習慣があまり浸透していないため、中国での生産品のほとんどが日本で販売されているが、中国工場では労働集約的な生産に手間がかかる製品、日本国内では生産効率の高い製品と、生産地ごとの棲み分けをしている。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災後、被災地に近い国内工場は生産の中断などの影

響があったが、生産拠点を分散していたことが幸し、中国工場はフル稼働を続けて震災後の需要増にも対応することができた。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

同社の主力商品である長靴は、サイズ展開が必要な製品であり、売れ筋商品であれば1品目あたり15サイズの展開が必要なものもある。その分金型など設備投資も必要なため、生産コスト、流通コストも見据えて「どこで何をやるか」の経営判断がカギとなり、国内外の生産拠点ネットワークを駆使して多品種展開に対応している。

上述のとおり災害発生時には、中国工場が国内工場のバックアップ拠点としても機能しており、弘進ゴムの事例は製造業の海外進出の見本とも言える。

④今後の事業展開について

高齢化社会の到来による老人介護問題を身近な課題として捉え、浴室用滑り止めシート「オーバルリンク」が発売から15年超のロングセラー商品となっている。

今後もフットウェア以外の新商品開発を続け、新たなヒット商品の開発が期待される。



農業、水産、食品など「その道のプロ」の高い支持を得ている弘進ゴムの製品